

人工知能はどこまでできているか ～最前線の事例から紐解く～

機械学習の技術やハードウェアの進歩によって人工知能は最近になって目覚ましい発展を遂げています。われわれ人間は発展した人工知能を敵視するのではなくこれからの生活に必須の道具として使いこなしていくことが求められています。ここでは話者が関わっている人工知能の最前線について研究と実践の面から紹介します。

プログラム

- 第1章：将棋と囲碁で名人を超えた後のゲーム AI について
～人狼知能、麻雀などの最新事例を紹介～
- 第2章：AI を用いた新しい公共交通のシステムについて
- 質疑応答

講師 松原 仁 氏 (サイバー大学 客員教授)

1981年東京大学理学部情報科学科卒業。1986年同大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。同年電子技術総合研究所(現産業技術総合研究所)入所。2000年公立はこだて未来大学システム情報科学部教授。2020年東京大学次世代知能科学研究センター教授。著書に「人工知能に哲学は必要か」、「将棋とコンピュータ」、「コンピュータ将棋の進歩シリーズ」、「鉄腕アトムは実現できるか」、「ロボットの情報学」、「先を読む頭脳」など。



日時 2022年 **10**月 **7**日(金) 19:00～20:30

YouTubeでLIVE配信

対象 どなたでも無料で視聴可能(要申込)

申込方法 以下の専用フォームあるいはQRコードよりお申し込みください。
お申し込み後、LIVE配信ページのURLをメールにてお知らせします。

【セミナー申込フォーム】 <https://survey.zohopublic.com/zs/4eBUxk>

